

三陸沿岸道路 宮古田老道路 榎内(第1・第2)トンネル貫通式

概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路」は、宮古市松山（宮古中央IC）から宮古市田老字小堀内を結ぶ延長21kmの自動車専用道路です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、各都市の連絡時間短縮による地域間交流の活性化や、流通効率化による地場産業の復興支援、救急医療施設へのより迅速な搬送による安心な暮らしのほか、災害時の緊急輸送路としての機能が期待されています。

この度、宮古田老道路「（仮称）榎内第2トンネル（延長1417m）」の貫通にあたり、「（仮称）榎内第1トンネル（延長611m）」と併せ貫通式を執り行いました。

貫通式では黒森神楽や田老児童館の児童に田老太鼓を披露していただき、貫通をお祝いしていただきました。

三陸沿岸道路 宮古田老道路榎内（第1・第2）トンネル貫通式 開催状況

開催日時：平成28年7月15日（金）10:30～12:30

開催場所：宮古市田老字古田地内

主催者：国道45号榎内地区トンネル工事三井住友・日本国土特定建設工事共同企業体



▲田老児童館の児童によるくす球割



▲田老児童館の児童による田老太鼓



▲黒森神楽



▲宮古市副市長によるご挨拶



▲永井事務所長挨拶



▲記念撮影